

子ども・高齢者安全対策支援事業

令和7年1月31日（金）
知事定例記者会見資料

地域創造部県民くらし課

藤本、松原（内線3340、3337）

最近の治安情勢

※奈良県警察公表資料より

- ①高齢者宅を狙う強盗事件が全国で多発
③認知症高齢者の行方不明事案の多発
⑤特殊詐欺被害の増加

- ②子どもに対するつきまとい等の脅威事犯の高止まり
④交通事故死者に占める高齢者の割合の増加

①闇バイトが疑われる高齢者を狙う強盗事件(主なもの)

令和5年

・1月19日
東京都狛江市 90代女性宅
強盗殺人

令和6年

・4月14日
茨城県常陸大宮市 90代女性宅
・4月30日
栃木県日光市 70代男性宅
・5月8日
群馬県安中市 70代男性宅
・5月14日
福島県南会津市 60代女性宅

・9月30日
東京都国分寺市 60代女性宅

・10月9日
千葉県船橋市 80代男性宅

・10月13日
神奈川県横浜市 70代男性宅

・10月14日
千葉県鎌ケ谷市 80代女性宅

・10月15日
神奈川県横浜市 70代男性
強盗殺人

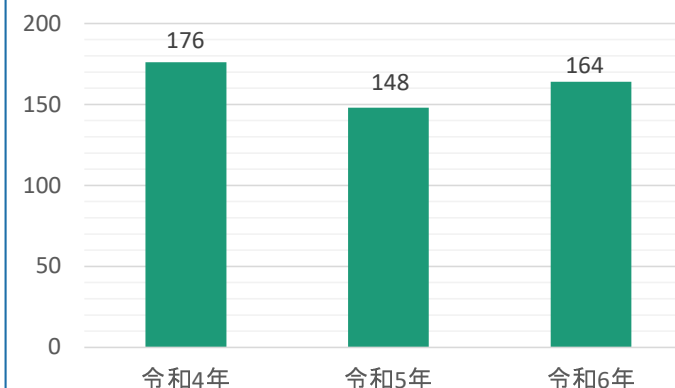
・12月22日
千葉県柏市 60代男性宅
千葉県旭市 60代男性宅

令和7年

・1月20日
佐賀県唐津市 60代女性宅

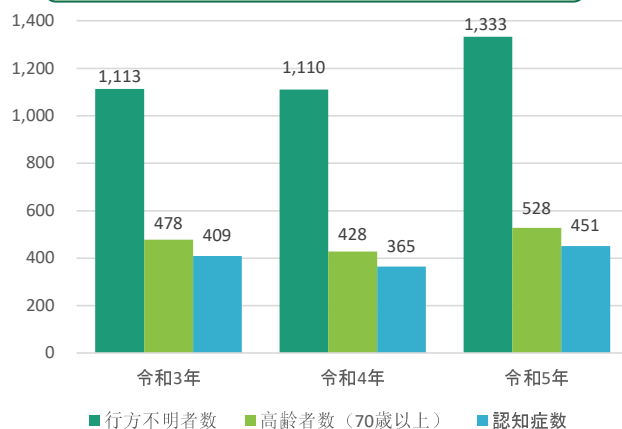
②子どもに対する脅威事犯

子どもに対するつきまといや声かけ等の脅威事犯は高止まり



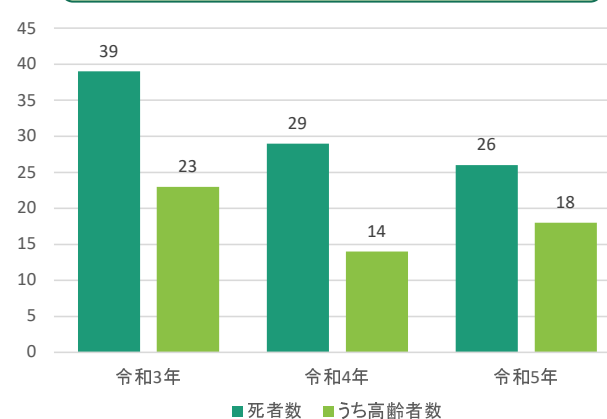
③行方不明者

高齢行方不明者の多くが認知症高齢者



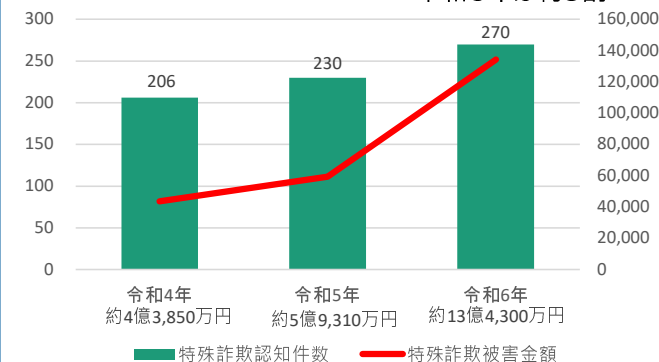
④高齢者の交通事故

死者数は減少も、高齢者の割合は高い



⑤特殊詐欺発生状況

発生件数、被害額とも増加

被害者のうち高齢者の割合は、令和4年は約9割
令和5年は約8割

趣旨・目的

- 子ども・高齢者に対する犯罪・事故を防止するため、**地域の主体的な防犯力・安全力を維持・向上**
- 地域住民による主体的な防犯・見守り活動の実効性を高め確保するための**防犯・交通安全設備等の導入を支援**

防犯・交通安全設備(例)

防犯カメラ



交通注意看板



キッズゾーンマーク

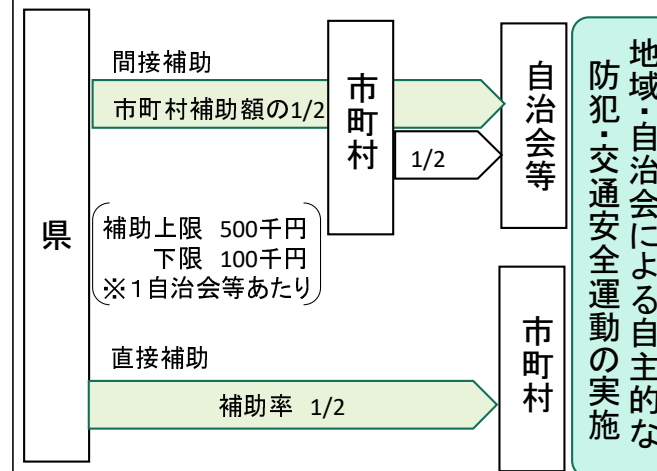
地域の主体的な防犯力・安全力の維持・向上



自主的な防犯・交通安全活動の促進
(檀原市防犯パトロール隊)

補助制度の概要

- 補助対象** 自治会等が自主的に行う子ども・高齢者の安全を守る取組に伴い、必要となる**防犯・交通安全設備、サイン等**(防犯カメラ、ストップマーク、キッズゾーンマーク等)の**設置に要する経費を補助**
- 補助条件** 自治会等による自主的な子ども・高齢者を守る地域防犯・交通安全活動の実施
 - ・高齢者宅訪問 ・通学通園の見守り ・啓発チラシの戸別配布
 - ・青色パトロール ・特殊詐欺防止など防犯講習会
 - ・導入設備の説明を兼ねた防犯会議
- 補助率** 市町村負担額の1/2



これまでの補助制度との違い

	【旧】通学通園路安全確保支援事業(令和4～6年度)	【新】子ども・高齢者安全対策支援事業
補助の目的	子どもの通学通園路の安全確保対策	子ども・高齢者の安全対策
事業対象	関係機関による通学路合同点検に基づき対策・整備が必要とされた通学通園路	通学通園路に加えて、犯罪や交通事故が発生またはその恐れがある場所
補助上限(下限は100千円)	300千円 /学校区	500千円 /自治会等
補助条件	—	自治会等が自主防犯・交通安全活動を実施すること